

平成24年度 磐田市少年補導センター運営協議会 会議記録

- 日 時 : 平成24年7月10日(火) 午前10時00分～午前11時45分
- 場 所 : 磐田市役所 西庁舎 3階 301会議室
- 出席者 : 安間陽一、鈴木 譲、海野広志、角川重晴、澤木一雄、松島了二、市川和幸、鈴木 学:委員10人中8人出席
但し、オブザーバーとして「神明中学校教頭」「磐田北高校教頭」出席
事務局側 磐田市・飯田教育長 少年補導センター所長・井原市民活動推進課長、青島グループ長、村松副主任、鳥居副主任、鈴木主査[竜洋公民館]、松本主査[福田公民館]、榛葉[囑託]

1. 開 会 [事務局]

2. 委嘱状の交付

3. 教育長あいさつ

おはようございます。委員の皆様には、お忙しいところ磐田市少年補導センター運営協議会にご出席くださりまして有り難うございます。日頃は、それぞれのお立場で磐田市の少年健全育成にご尽力いただいております。この場をお借りしてお礼を申し上げます。ただ今、本運営協議会の委員に新たになりましたお二人に委嘱状を交付させていただきました。任期は来年3月31日までの1年間となりますが、継続される委員の皆様と同様よろしくお願いいたします。

さて、合併前に旧磐田市にありました少年補導センターを新市において全市に拡大し、これまで活動を行ってまいりました。5月25日には市全体での少年補導員の委嘱式と研修会を行いました。本年度も早いもので3ヶ月が経過しまして、いよいよ夏季の県内一斉補導と立入調査を行う時期となりました。磐田市の一斉補導日は7月20日の金曜日を予定しております。

当市においては、現在、学校、地域、保護者が一体となって生徒の行動を立て直す態勢をとっている学校があります。それにより学校も少し落ち着きを見せてきてはおりますが、予断を許さない状況にあります。そのため、この学校を含め全ての学校において、粘り強い対応が必要であろうと思います。

小学校、中学校、高等学校も1学期はあと僅かとなりました。もうじき夏休みということで子ども達も気の緩む時期になります。中学生では磐周大会が終わってしまった、あるいは高校生も大会が既に終わってしまったということで次なる目標が見出せないでいる子どももいます。そうした中で少年補導をお願いするわけですが、その地区の実情に合った補導活動をお願いできればと考えています。少年補導も、あきらめず粘り強くやる必要があるのではないかと思います。今日は委員の皆様には活発な意見交換をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

4. 自己紹介

5. 会長あいさつ（会長）

改めまして皆さんおはようございます。大変貴重なお時間をさいてこの協議会にご出席いただき、誠に有り難うございます。本年度初めての会合となります。さて、補導員の数ですが一昨年度は273人、昨年度は199人、本年度は138人というように大幅に減少してきております。

しかし、少年問題をみますと多岐にわたりいろいろ難しい面もあります。限られた補導員で活動していくしかありませんので、どうかご協力の程よろしく願いいたします。前回は2月にこの協議会を開催したわけですが、その折には集団万引きの話題が取り上げられました。最近のように世の中に閉塞感が漂いますと犯罪が増える傾向にあると思われれます。日本もリーマンショックから3年半が経ち、またその間には大震災もありました。最近は大人も子どももゆとりがないといった状況が伺えます。こうしたことが犯罪の原因の一つであるとも考えられます。健全育成会のほうもいろいろ課題を抱えています。これからは、少年の心に伝える活動が必要ではないかと考えます。いろいろなご意見を伺いながら中身の濃い活動をしていきたいと思っております。今後ともよろしく願いいたします。

6. 議題

(1) 少年補導センターの業務について（事務局）

事務局から、少年補導センターの業務についてご説明させていただきます。

まず、初めに平成24年度磐田市少年補導センターの事業計画といったことについて説明させていただきます。5月25日に磐田市少年補導員の委嘱式と研修会を開催しました。本年度におきます補導員さんの数は138人で、また今回新たに補導員として委嘱した方は42人となります。

少年補導員さんの数は、平成22年度は273人、翌23年度は199人でありましたので徐々に減少している状況にありまして、本年度は今お話ししたように138人となっています。減少理由につきましては、自治会から推薦されます補導員さんの数を大幅に減らしていること、それに本年度からは、警察側の協力団体とも言えます少年警察協助手・少年指導委員といった方々につきましても、磐田市少年補導員といった役職から外れたことによるものです。

なお、本年度の138人の補導員さんの構成ですが、自治会側から推薦された方は88人、各学校長から推薦された方は39人で、この39人は全員が学校の先生といったお立場の方となります。

それに旧磐田市内にあります11公民館の各館長といったこととなります。

そして、今後の事業計画ですが、主だったものとしては、7月の一斉夏季補導、9月～10月にかけての各地区祭典補導、12月の一斉冬季補導、3月の卒業式警戒といったものになります。

以上が、平成24年度磐田市少年補導センターの事業計画といったものになります。

続きまして、平成24年4月から6月までの3ヶ月の磐田市少年補導センターの活動結果についてご説明させていただきます。

まず、初めに補導（声かけ）ですが、6人に対し注意喚起を兼ねた補導をしております。そのうち女子は4人となります。次に、活動内容ですが、数こそ少ないものの定例補導、特別補導、祭典補導等といった活動を実施しています。7月から本格的な補導活動を入ります。次に有害図書類の回収状況についてご説明します。磐田市文化振興センターの玄関口に白ポストが設置されているわけですが、そこからビデオテープ5巻を回収しています。

次に会議、研修会ですが、磐田市少年補導センターは、西部ブロック会議といった組織に加入

しています。この西部ブロック会議と言いますのは、東は御前崎市、西は湖西市の範囲内にあります各市町の補導センターの職員が一同に介し情報交換等をする会議となります。この会議は本年度既に2回開催されていまして、それに各出席しています。また、8月24日(金)には、このブロック会議の補導センターの職員らにより浜松市内での合同補導を計画しております。次に夏休み対策ですが、磐田市補導センターとして少年の健全育成に積極的に参画していきたいと考えています。

以上、事務局から、少年補導センターの業務といったことで、平成24年度磐田市少年補導センターの事業計画、それに平成24年4月から6月までの3ヶ月の磐田市少年補導センターの活動結果について、ご説明させていただきました。

(2) 最近の青少年の動向について

(各委員からの発表内容「同返答」)

・深夜はいかいで補導される少年が大勢いますが、わが子が深夜出歩いていること自体を親が承知していないケースが多くみられます。

・平成20年にタスポが導入され少年自身が自動販売機でタバコを買うことができなくなりました。そのため、少年がタバコを手に入れるにはコンビニ等において対面販売で手に入れるか、親が子どもに与えるかのどちらかと言えます。

・JR磐田駅北口のコンビニ前に午後11時以降に少年複数が溜まっている光景を見かけます。犯罪に手を染めないか心配しています。

・携帯電話のインターネット回線を使って友達を誹謗中傷する書き込みをする少年がいます。被害に遭った子どもが学校の先生に訴えて発覚するといったケースもありますが、なかなか情報として挙がってこない実情にあります。

・最近いじめに遭って屋上から飛び降り自殺したという報道がされましたが、誹謗中傷する書き込みはどうにかならないのですか。

(同返答) 業者に頼んでネットパトロールをお願いしています。また、一方、保護者に対しても指導しています。

・少年が携帯電話を購入する際には、原則的にフィルタリングをかけることになっています。それを解除するには親が「解除して下さい」と頼まないで解除できないといったシステムになっています。

・磐田市内の学校では携帯電話の学校持込はどうなっていますか。

(同返答) 磐田市内の公立小学校、中学校では持ち込み禁止になっています。

一部の中学校では、講師を依頼して携帯電話の安全教室を開いています。

・子どもの携帯電話の所持率は、中学校1年生で約3割、それから段々と上がっていき3年生では約5割と言われています。しかし、最近では携帯電話からスマホの時代に移りつつあります。

・少年を非行に走らせないためには、規範意識と順法精神を養うことが必要と思われます。小さい時から善悪について教えることが非常に大事だと言えます。

・最近の状況をみていると、学校が親に遠慮し過ぎているように思います。私は自論として、子どもの躰は親が、学校は勉強を教えてくれる場だと思っています。学校はもう少しオープンにして、それを地域全体で考えていくべきだと思っています。先生はもっと自信を持ってやっ

てほしいと思います。

(3) 情報交換（委員等から出た意見）

・8月1日をもって竜洋地区では「竜洋防犯まちづくり協議会」という組織が発足します。これにはあらゆる階層の方々が参加されます。この場を借りて報告させていただきます。

・磐田市内において不審者事案が多く発生しています。まず、逃げるのが先決ですが、できるならば後ろを振り返って車の番号を見てほしいと思います。全部覚える必要はないと思いますが。

(同返答) 子どもには、「まず逃げろ」と教えています。現実問題として子どもへの声かけも難しい時代とも言えます。声かけをする場合には、声かけする側が子どもに不審者ではないと分ってもらわないと始まりませんので、服装、特に特徴ある帽子、チョッキ等を被る、着るといったことが必要だと言えます。

※ 事務局から、本年1月から6月までの6ヶ月間に磐田市内で20件の不審者事案があったことを報告した。

(4) その他（事務局）

磐田市学習交流センターの案内

この施設は中高生を対象としたもので本課の所管施設でもあります。場所は、磐田駅前で天平のまちの3階にあります。従来は、住民票の交付とかジュビロのメモリアムの展示がしてあったわけですが、利用者の低迷などによりリニューアルしまして、本年の5月1日に磐田市学習交流センターとしてオープンいたしました。このセンターは、学習室、くつろぎ・憩いコーナー、ふれあいコーナーの3つのコーナーに分かれています。益々の利用促進のために多くの皆様方へのご案内の程、よろしく願いいたします。

7 閉会 [事務局]